



# PGSJのワイン事業

1. ワイン事業の推移 -年表-
2. ワイン事業立ち上げの経緯
3. 新提携先「五-わいん」の紹介
4. PB（プライベートブランド）ワインの販売予定
5. ワインの特徴

＜参考資料＞ ・ 障がいのある社員の作業風景  
・ POJ社員によるボランティア

プルデンシャル・ジェネラル・サービス・ジャパン株式会社

# 1. ワイン事業の推移 一年表



## 業務提携先

VOTANO  
WINE

2021.4  
POJの出向者が  
ワイナリーで  
修業開始

2022.4  
業務提携契約  
締結

2022.7  
障がい者を  
2名雇用

2024.6  
業務提携  
終了

2021

2022

2023

2024

2025

五一わいん

2024.8  
業務提携  
開始

障がい者2名と  
POJ出向者が  
業務開始

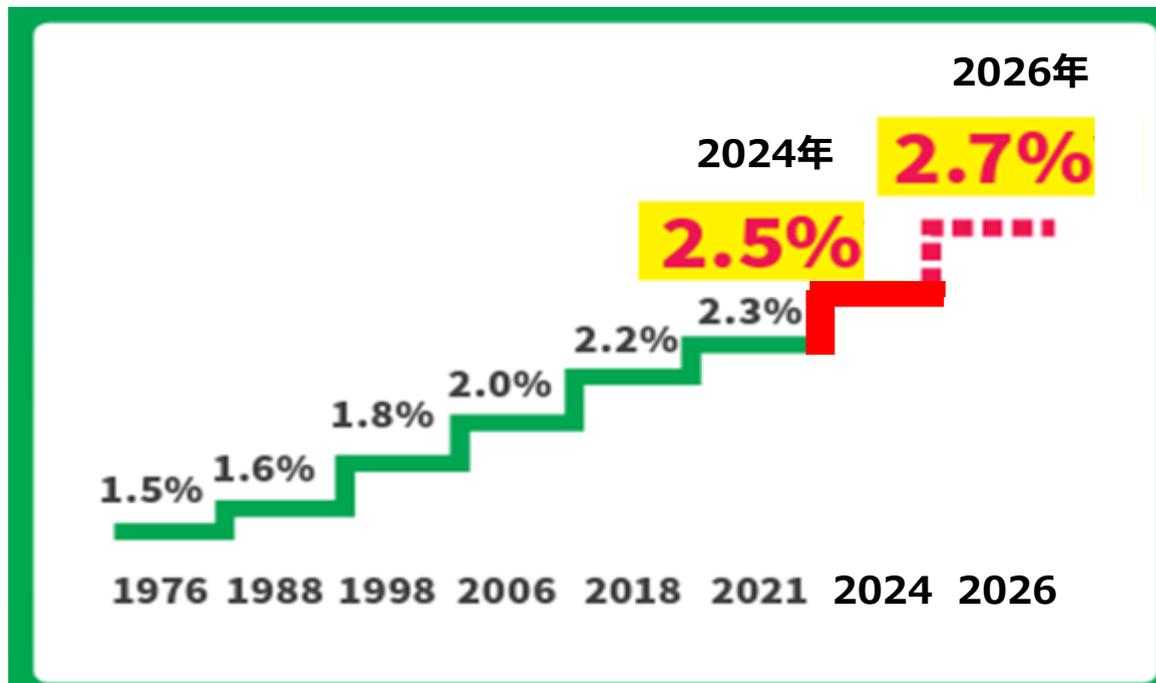
## 2. ワイン事業立ち上げの経緯



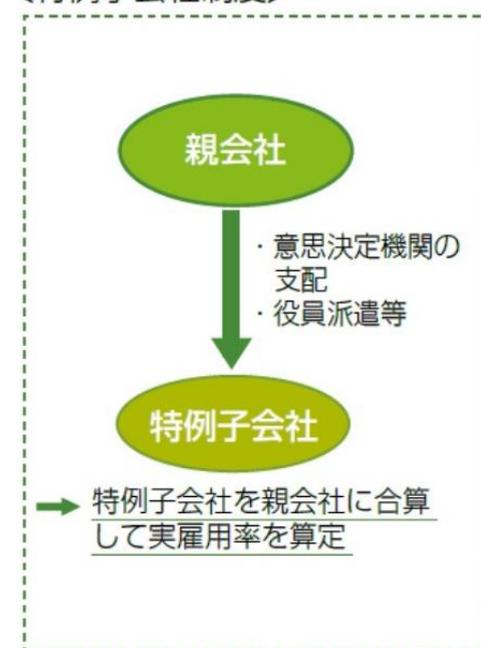
Prudential  
of  
Japan

- PGSJはプルデンシャルグループの特例子会社として、**「障害者雇用促進法」**に則り、一般就労の機会が少ない障がい者を有する方に対し、就業の場を提供しています。

〔障がい者の法定雇用率〕



〔特例子会社制度〕



**障がい者の法定雇用率の上昇により、就業場所の拡大・創出が急務**

### ワイン事業の選定理由

- 社内表彰・懇親会等で利用可、保全サービス等LPの営業活動との親和性も高い
- 「農福連携」事業は社会貢献度・地域貢献度が高い
- 農作業による障がい者への「心身のリハビリ効果」・「やりがいの創造効果」が高い

### スタートアップスキーム

- 既存のワイナリーと業務提携  
ワイナリー名：VOTANO WINE  
(長野県塩尻市)
- オーナー（栽培・醸造責任者）は、ココ・ファームで  
ブルース・ガットラブ、曾我貴彦に師事



### 3. 新提携先「五一わいん」の紹介



項目	企業情報
所在地	〒399-6461 長野県塩尻市大字宗賀 1 2 9 8 - 1 7 0
従業員数	企業全体 34人（うち女性10人）
設立年	1911年（明治44年）
事業内容	ワイン・ジュースの製造・販売    ワインの生産本数：約80万本
会社の特長	1911年：果樹栽培開始 1919年：ワイン醸造開始  地元塩尻の四大ワインのひとつ  2つの自社農場（本社隣接10ha、塩尻市柿沢5ha） ・100軒の契約農家



## ☆ 日本ワインコンクール2024にて 欧州系赤部門の「金賞&部門最高賞」を受賞☆



#### ◆ 受賞ワイン ◆

金賞：エステートゴイチ メルロ柿沢2021 【売店にて販売中！】

銀賞：桔梗ヶ原メルロ2020

銀賞：桔梗ヶ原メルロ2021※

銀賞：エステートゴイチシャルドネ2023

銀賞：塩尻ナイヤガラ2023

銅賞：エステートゴイチメルロ2021

銅賞：塩尻マスカットベリーーA2023※

銅賞：塩尻セイベル2023

# 4. PB（プライベートブランド）ワインの販売予定



Prudential  
of  
Japan

2024年度

2025年度

VOTANO  
WINE

※エチケットは  
VOTANOの  
ブランドを生かし、  
ロゴのみを表記

五一わいん

※エチケットは  
完全オリジナル  
なものを制作予定

2024年10月  
1日(火)から  
数回に分けて  
販売予定

2021VT（ヴィンテージ）  
※在庫が無くなり次第終了

2022VT  
※在庫が無くなり次第終了

2023VT  
※2025/4 販売開始予定

2024VT  
※2025/4  
販売開始予定

樽に仕込まない  
白ワインから  
販売スタート



## VOTANO WINE

### 製造のスタイル

ナチュラル（自然派）ワイン  
※ナチュラルワインの  
明確な定義は日本にありません

### 製造上の特徴

- ・ 自然酵母
- ・ 減農薬
- ・ 酸化防止剤（亜硫酸塩）は最低限の添加
- ・ 無濾過

## 五一わいん

クラシック（伝統的）ワイン

- ・ 乾燥酵母  
（自然酵母をもとにメーカーが  
純粋培養した酵母）

### <ワイン事業担当者のコメント>

- ・ 現在業界内には、ナチュラル派、アンチナチュラル派がそれぞれに良い点、欠点・懸念点を主張し合う風潮があるように感じています。このあたりのことは、ネットや本で調べてみるとワイン好きな方には非常に興味深いことかと思えます。  
ワインは嗜好品ですので、基本的にはいろいろなワインをお試し頂いて、どちらがどうということではなく、お好みのワインに出会って頂ければ良いなと思っております。
- ・ ただ、「For LP」の精神で考えますと、LPさんのみならずお客様から不評を買わないように、「個性的な特徴のあるものより、まずはクリーンでバランスの取れた欠点の感じられないワインを提供すべきではないか…」と今のところは考えております。
- ・ とは言え、個人的にはやはりプルデンシャルとして、「プルデンシャルが単独で管理する畑で、その自然酵母を使って、障がい者と一緒に“プルデンシャルらしい”と言われるワインを造る」ということも一つの夢として大切にしたいと考えております。

## <VOTANO WINE にて>



## <五一わいん にて>





## ＜2023年度 POJ 参加支社＞

- ・長野支社
- ・甲府支社
- ・東京第十支社



**OBの方々にもご活躍頂いてます！**

**IVD、チームビルディング、仲良しグループ等での  
皆さまのご来園をお待ちしております。**